～令和元年度 青森県歯科衛生士会三八支部研修会～

多職種で「食べる」を支える

介護あんしん相談室サンパチ
社会福祉士事務所サンパチ

代表　小泉　紀之
(主任介護支援専門員・社会福祉士)

〈　介護支援専門員とは　〉

（1）定義

要介護者や要支援者からの相談に応じるとともに、要介護者や要支援者が心身の状況に応じた適切なサービスを受けられるよう、ケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）の作成や市町村・サービス事業所・施設等との連絡調整を行う者であって、要介護者や要支援者が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識・技術を有するものとして介護支援専門員証の交付を受けたもの （介護保険法　第7条第5項）

〈　介護支援専門員の主な役割　〉

アセスメント(課題の把握・分析)

↓

居宅サービス計画原案作成

↓

サービス担当者会議開催

↓

モニタリング(サービス実施状況の把握)

情報収集、分析し、課題を把握、必要な専門職へつなぎ、要介護者、各職種間の調整を行う。

〈　課題分析標準項目（厚生労働省通知）　〉

【課題分析(アセスメント)に関する項目】

健康状態、ＡＤＬ、ＩＡＤＬ、認知、コミュニケーション能力、社会との関わり、排尿・排便、じょく瘡・皮膚の問題、**口腔衛生**、**食事摂取**、問題行動、介護力、居住環境、特別な状況

口腔衛生 → 歯・口腔内の状態や口腔衛生

食事摂取 → 食事摂取(栄養、食事回数、水分量等)

〈八戸市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例〉

第15条⒀の２

介護支援専門員は、指定居宅サービス事業者等から利用者に係る情報の提供を受けたときその他必要と認めるときは、利用者の服薬状況、口腔機能その他の利用者の心身又は生活の状況に係る情報のうち必要と認めるものを、当該利用者の同意を得て主治の医師等(歯科医師)又は薬剤師に提供するものとする。

〈　「食べる・口腔ケア」のケース①　〉

🦷 80代　要介護Ⅰ　大腿骨転子部骨折　肺癌

「食べれば痛くて、入れ歯を作り直したいんだけど歯医者まで歩けないから、我慢してるんだよね」

↓

訪問歯科医院を紹介、情報提供、日程調整

↓

「痛くないぴったりな入れ歯ができた。歯医者さんが家に来てくれるなんて知らなかった、いい時代になった。ありがとうございます」

〈　「食べる・口腔ケア」のケース②　〉

🦷 70代　要介護5　脳梗塞　大腿骨転子部骨折

有料老人ホーム入居中

食事摂取量低下、BMI低下、ムセ込み、褥瘡

↓

訪問リハビリの提案により、OT・ST・管理栄養士、施設スタッフ、家族とのカンファレンス開催

↓

摂食嚥下・栄養評価・嗜好調査により、ノンアルコールビールや焼き鳥、カロリー・蛋白質補食、活動量調整・摂食姿勢改善等に取り組み体重維持

〈　「食べる・口腔ケア」のケース③　〉

🦷 70代独居 要介護5　膵頭部癌、多発性肝転移

終末期の食事・水分量低下、全身疼痛、痰がらみ

↓

本人の状態に合わせ、訪問看護、訪問介護、福祉用具導入。本人の好む牛丼弁当、スルメ、チーズから、ゼリー、エンシュア等の摂食支援

↓

「こんなにみんなが来てくれるなら、1人暮らしでも入院しないでずっと家にいたい」と、穏やかに自宅で最期を迎える

〈　「食べる・口腔ケア」に関する
ケアマネジャーの声の一例　〉

「痛みがある場合以外、歯科受診をケアプランに位置付けることは少ない、指摘を受けることもない」

「アセスメントで『口の中見せてください』と言いにくい、見えにくい部分であり、状況を把握しにくい」

「虫歯がある高齢者に『肺炎や脳梗塞の原因にもなりますよ』と歯科受診を勧めても断られることもある。高齢者は歯を大事にするという指導を受けたことが少ないせいか、口腔衛生への意識が薄い方もいる」

〈　「食べる・口腔ケア」に関する
ケアマネジャーの声の一例　〉

「ケアプランにて訪問歯科に結び付けても、自律神経失調症やうつ傾向、認知症の方が『今日は体調が悪い』と帰してしまい、診察日を設定できなくなる」

「痛みの治療のために訪問歯科を依頼するが、導入のやりとりのみで連携が終わることが多い」

「食べることの相談は言語聴覚士にすることが多い」

〈　「食べる・口腔ケア」に関する
ケアマネジャーの声の一例　〉

「歯の治療、義歯作成以外のことを、歯科医、歯科衛生士に相談していいのかがわからない」

「認知症や精神疾患に理解のある歯科がどこにあるかわからない、あまり積極的でない所もあると感じる」

「居宅療養管理指導報告書が『歯科治療』『口腔清掃』等の記載のみでケアプランに落とし込みにくい」

〈「食べる・口腔ケア」に関する ケアプランにおける連携の課題〉

🦷口腔内の疼痛時や義歯作成時のみに、歯科につなげるといった連携？　関わりに終始している

↓

🪥食事量、BMI低下や、終末期ケアの場面等において、口腔衛生・摂食嚥下の専門職不在のまま、”好きなものをできるだけ促す”ことのみに注力した支援が行われている可能性

🧴口腔内の問題により、肺炎や全身疾患、摂食嚥下や発音発語などQOL低下を引き起こしている可能性